

令和6年度 第2回まちづくり会議 議事要旨

日 時: 令和6年9月13日(金) 19:00~20:30

令和6年9月15日(日) 14:00~15:00

場 所: 前橋プラザ元気21 501・502 会議室

○議事要旨(9月13日)

(1) 道路空間デザインの決定について

地域住民: 空間デザインはどのようにして決定していくのか。

事務局: 各分野の専門家、地元代表者、道路管理者等で構成された審査委員会により評価を行い最終決定していく。最終決定までには公開展示会などを開き、地域のみなさまからも意見をいただきながら進めていく。

(2) 歩くことへの意識改革について

地域住民: 歩くことへの意識が薄いと感じている。歩く意識が無い中で道路整備を行っても、今の状態と変わらない可能性もあるのではないかと。

事務局: アンケート結果からは利用者意識までは把握できないが、道路空間をウォーカブルなものにしていくことが、意識改革への切り口にもなると考えている。

(3) 本コンペの対象について

地域住民: 今回のデザインコンペで対象とするのは、道路のデザインだけか。

事務局: 道路のデザインだけでなく、道路空間と一体となった街並みについても提案を求める予定である。また道路の使い方や、人を呼び込むためのプロセスなどについても合わせて提案を求める予定でいる。

地域住民: 道路のデザインは理解できるが、沿道建物も含めたコンペなのか。沿道建物に対しての支援やサポートはあるのか。

事務局: コンペで求める提案については、沿道建物に対する補助メニューなどまでは含めてはいない。前橋市ではすでに民間に対する補助メニューがあるため、そういったものを活用しながら、民地側でもリノベーションが生まれることを期待している。

(4) 公共交通専用レーン設置やトランジットモール化による交通影響について

地域住民: 公共交通専用レーンやトランジットモール化によって、現在の交通が混雑してしまうのではないかと。

事務局: 当該道路だけでなく、周辺の道路を含め、交通のシミュレーションを実施し、周辺交通への影響について検証を行っている。市内の道路整備が進むことを想定すると、現状の交通よりも渋滞が発生しないことを確認

している。

(5) まちづくり会議の今後の開催スケジュールについて

地域住民：スケジュールとして、今後のまちづくり会議はいつ頃を想定しているのか。

事務局：次回以降のまちづくり会議は、デザインコンペがスタートした後の開催を予定しているため、現時点でいつ頃かは明言できない。

(6) コンペにおける前提条件について

地域住民：本説明会の趣旨が分かりづらい、歩いて楽しいまちづくりを望むことは当たり前なことでもあるし、コンペの条件でこれらを出されても困るのではないか。もっと、前橋の歴史や地理を提示してはどうか。

事務局：本説明会は、地域がこの道路空間に求めていることの方向性が間違っていないかを確認させていただくことと、今後の予定を共有することが目的である。また、コンペでは前橋の歴史や文化について、市の文献などの情報提供も行い、前橋について十分把握した上での提案を求めるとしている。

地域住民：今回説明された県庁から五差路はトランジットモール、五差路から前橋駅は公共交通専用レーンと一般車線の混合、五差路は平面交差の形状にするということがコンペの条件となるということか。

事務局：認識のとおりである。説明した内容などを前提条件としつつ、地域の皆様の意向に沿った要求事項なども踏まえて、最終的な最優秀作品を決定していきたいと考えている。

○議事要旨(9月15日)

(1) 空きビルなどの民間活用について

地域住民：県庁前通りでは空きビルが目立つが、今回の空間デザインに対して、民間の開発が追いつくか懸念がある。民間の活用については、どのように考えているのか。

事務局：今回のコンペでは道路空間の使い方も含めて、賑わいを創出するような提案を求める予定である。すでにあるイベントもあるが、そういったものも活用して、人が集まるような循環を生み出し、周辺民地まで含めた賑わいに発展することを期待している。

(2) 本事業のコンセプトについて

地域住民：本事業のコンセプトは五差路の改善を含めた交通の円滑化なのか、それとも賑わいづくりなのか、ポイントがあれば教えてほしい。今回の取組によって、民間も頑張っていく声が増えていくと思うので、ぜひ頑張

ってもらいたい。

事務局：コンペの主な部分としては、道路空間を再編することで、道路の使い方を変えていき、賑わいを創出することが大きなポイントと考えている。その対象区間の中に五差路という円滑な交通に課題がある交差点が含まれているため、これらの課題も解決していきたいと考えている。

(3) 市民への周知について

地域住民：説明会への参加者が少ないため、周知をしっかりと行ってほしい。市民はもっと関心を持たなければいけないと感じている。

事務局：なるべく多くの地域の方に参加していただきたく、今回は毎戸配布を実施したところである。今後も説明会等を行う予定であるが、今後も是非とも参加をお願いしたい。広報に掲載するなどの工夫を行うが、事務局からの周知だけでは不十分のところもあるため、周りの方もお誘いあわせの上、参加していただくとありがたい。また、今回の説明会の内容については、ホームページへの掲載などにより、地元の方々への周知を図っていく。

以上